

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第10期)策定のための調査概要(案)

1 調査目的

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第10期)の策定に当たって、高齢者のリスク、生活状況、ニーズ等を把握するとともに、介護サービス提供事業者、介護支援専門員及び医療機関の取組、連携状況、要望等を把握するために実施する。

2 調査種別

区分	調査名	対象者	目的	調査方法
調査①	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の市民 <u>3,600人</u> ①65歳以上の市民で要支援1～要支援2までの介護認定者 <u>1,000人</u> ②65歳以上の市民(要支援・要介護認定者を除く) <u>2,600人</u>	介護状態になる前の高齢者のリスクや生活状況等を調査し、国の地域包括ケア「見える化」システムによる時系列分析、地域間比較なども活用しながら、区の高齢者の抱える課題やニーズを把握する。	郵送による配布及び回収 (督促状1回送付)
調査②	居宅サービス利用者調査	65歳以上の市民で介護保険居宅サービスの利用者 <u>1,800人</u>	居宅サービス利用者の利用状況や意向を把握することで、サービス水準の設定、サービス提供体制のあり方について検討する。介護者の介護状況や意向を把握することで、介護支援策の充実を図る。	
調査③	在宅介護実態調査	市内の在宅で生活している要支援・要介護認定者のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた者 <u>650人程度</u>	「介護離職の防止」の観点から高齢者等の適切な在宅生活の継続及び家族介護者への支援を考える。	認定調査員による聞き取り R7.6から実施中
調査④	介護保険サービス提供事業者調査	市内で介護予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している全事業所 <u>300事業所程度</u>	事業所の運営状況や今後の事業展開、市への意見や要望等を把握し、介護保険制度の適切な運営と支援の検討に役立てる。	郵送による配布及び回収 WEB 回答併用 (督促状1回送付)
調査⑤	介護支援専門員(ケアマネジャー)調査	市内の居宅介護支援事業所に在籍する全ての介護支援専門員 <u>140人程度</u>	ケアマネジャーの業務の状況や業務全般の考え、医療と介護の連携の状況等を把握し、介護保険制度の適切な運営と、医療と介護の連携の強化に役立てる。	
調査⑥	医療機関調査	市内の医療機関(病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション) <u>470機関程度</u>	医療機関、訪問看護ステーションにおける市民への在宅療養の取組状況や医療と介護の連携の状況等を把握し、住み慣れた地域での暮らしを継続するための医療と介護の連携の強化に役立てる。	

<凡例> 国：○ 必須設問、△ 任意選択設問
市：○ 必須設問
地福・障害と共通：○ 同時期に改定予定の他計画との共通設問

3 調査項目一覧（案）

調査① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【全62問 ※前回調査比 7問（10.1%）減】

調査項目	問番号	設問	国	市	地福・障害と共通	新規・変更・削除等
A 基本属性	F 1	性別		○		
	F 2	年齢		○		
	F 3	居住地域		○	○	修正
	理由：町名ではなく居住する福祉エリアで回答するよう3課で統一。⇒資料1-2・1ページ					
	F 4	家族構成	○	○		
B 就労状況	問 1	収入のある仕事の有無		○		
	問 1-1	何歳まで仕事をしたいか		○		
	問 1-2	仕事を続けるうえで重視する点		○		
C 生活状況	問 2	要支援認定の状況				
	問 3	介護・介助の状況	○			
	問 3-1	主な介護・介助者	△			
	問 4	介護が必要になった時に生活したい場所		○		
	問 5	経済的に見た暮らしの状況	○			
	問 6	住まい（一戸建て、集合住宅など）	△			
	問 7	住まいや住環境で困っていること				
	新規 1	今後の府中市への居住継続意向			○	新規
	理由：各事業と居住継続意向の関係性を確認するため。⇒資料1-2・4ページ					
D からだを動かすこと	問 8	手すりを使わず、階段の昇降	○			
	問 9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる	○			
	問 10	15分位続けて歩くこと	○			
	問 11	過去1年間に転んだ経験	○			
	問 12	転倒に対する不安	○			
	問 13	外出状況	○			
	問 14	昨年と比べた外出の有無	○			
E 食べること	問 15	身長・体重（BMI）	○			
	問 16	半年前と比べて固いものが食べにくくなったか	○			
	問 17	歯の数と入れ歯の利用状況	○			
	問 17-1	毎日入れ歯の手入れをしているか	△			削除
	理由：調査結果の活用がなく、国調査も△であることから削除。⇒資料1-2・5ページ					
F 毎日の生活	問 18	誰かと食事をともにする機会	○			
	問 19	物忘れの様子	○			
	問 20	バスや電車を使って1人で外出すること（自家用車でも可）	○	○		
	問 21	自分で食品・日用品の買物をする	○	○		
	問 22	自分で食事の用意をする	○	○		
	問 23	自分で請求書の支払いをする	○	○		
	問 24	自分で預貯金の出し入れをする	○	○		
	問 25	新型コロナウイルス感染症の流行を受けての変化				削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料1-2・6ページ					

調査項目	問番号	設問	国	市	地福・障害と共通	新規・変更・削除等
G 地域生活と日ごろの活動	問26	会・グループ等への参加状況	○	○		
	問27	地域づくり活動への参加者としての参加意向	○			
	問28	地域づくり活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向	○			
	問29	これから参加したい活動		○		
	問30	敬老の日記念大会の参加状況				継続
	理由：前回の協議会で削除としていたが、敬老事業の見直しを検討する上での参考データとするため、削除ではなく継続。					
	問30-1	その理由				継続
	理由：前回の協議会で削除としていたが、敬老事業の見直しを検討する上での参考データとするため、削除ではなく継続。					
	問31	敬老の日記念大会の参加意向				継続
	理由：前回の協議会で削除としていたが、敬老事業の見直しを検討する上での参考データとするため、削除ではなく継続。					
	問31-1	その理由				継続
	理由：前回の協議会で削除としていたが、敬老事業の見直しを検討する上での参考データとするため、削除ではなく継続。					
	問32	生きがいの有無	△			削除
	理由：調査結果の活用がなく、国調査も△であることから削除。⇒資料1-2・8ページ					
	問33	生きがいづくり事業として望む事業（自由記述）				削除
	理由：問32に関連して、調査結果の活用がなく、国調査も△であることから削除。⇒資料1-2・8ページ					
	問34	友人・知人と会う頻度	△			
H 認知症	問35	本人または家族に認知症の症状があるか	○	○		
	問36	認知症に関する相談窓口を知っているか	○			
	問36-1	知っている相談窓口				
	問37	認知症になった場合の暮らしへの意向		○		修正
	理由：イメージだけでなく、具体的な意向として確認するため。⇒資料1-2・9ページ					
	問38	認知症について知っていること				
	問39	認知症予防啓発活動への参加状況				
	問40	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと				
I 助け合い	問41	心配事や愚痴を聞いてくれる人	○			
	問42	心配事や愚痴を聞いてあげる人	○			
	問43	看病や世話をしてくれる人	○			
	問44	看病や世話をしてあげる人	○			
	新規2	どこに相談したらよいか分からない悩みはあるか			○	新規
	理由：3課共通で各年代の傾向を調査するため。⇒資料1-2・11ページ					
	新規2-1	悩みの内容			○	新規
	理由：3課共通で各年代の悩みを調査するため。⇒資料1-2・11ページ					
	問45	近所づきあいの程度			○	
	問46	地域からの役割の期待				削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-2・11ページ					
	問47	地域の助け合い（手助けできること、過去に手助けたこと、手助けしてほしいこと）				削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-2・12ページ					
J	問48	主観的健康観	○	○		
	問49	主観的幸福度	○	○		

調査項目	問番号	設問	国	市	地福・障害と共通	新規・変更・削除等
健康づくりや介護予防など	問 5 0	1 か月間にゆううつな気持ちになったりしたことがあったか	○			
	問 5 1	1 か月間に物事に対して心から楽しめない感じがよくあったか	○			
	問 5 2	喫煙の状況	○			
	問 5 3	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無				
	問 5 4	治療中の病気	○			
	問 5 5	介護予防に対する考え				削除
	理由：問 5 6 と統合。⇒資料 1－2・14 ページ					
	問 5 6	介護予防事業の（１）参加状況（２）参加意向				修正
	理由：問 5 5 と統合。⇒資料 1－2・14 ページ					
	問 5 6－1	介護予防事業の成果				
	新規 3	短期集中予防サービスの利用意向				新規
	理由：市民のニーズを把握し、事業の普及に活用するため。⇒資料 1－2・14 ページ					
K 災害時の対応	問 5 7	災害時に助けてくれる人				
	問 5 8	災害に備えて取り組んでいること				
	問 5 9	災害時に手助けが必要な人にできること				削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料 1－2・15 ページ					
L 情報	問 6 0	健康や介護、福祉サービス、地域活動の情報入手先				
	問 6 1	暮らしの問題や福祉に関する相談先		○		
	問 6 2	地域包括支援センターの役割や機能の認知状況		○		削除
	理由：地域福祉推進課実施の調査に含めるため。⇒資料 1－2・16 ページ					
	問 6 3	パソコンやスマートフォンなどの所持状況				削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料 1－2・16 ページ					
	問 6 4	問 6 3 の媒体の用途				削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料 1－2・17 ページ					
M 介護保険	問 6 5	介護保険サービスの認知度				
N 在宅療養	問 6 6	在宅療養サービスの認知度				
	問 6 7	自宅で療養を続けたいと思うか				
	問 6 7－1	在宅療養は可能だと思うか				
	問 6 7－2	そう思わない、難しいと思う理由は				
	問 6 8	人生の最後をどうすごしたいか、家族等や医療介護関係者と話し合ったことがあるか				
	問 6 8－2	話し合ったことがない理由は				新規
	理由：話し合ったことがない背景要因を知るため⇒資料 1－2・20 ページ					
O 自由意見	問 6 9	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望				

<凡例> 市：○ 必須設問
地福・障害と共通：○ 同時期に改定予定の他計画との共通設問

調査② 居宅サービス利用者調査【全35問 ※前回調査比 9問（20.5%）減】

調査項目	問番号	設問	市	地福・障害 と共通	新規・変更・ 削除等
A 基本属性	◎	回答できない場合の理由			
	◎	記入者			
	F 1	性別			
	F 2	年齢			
	F 3	居住地域		○	修正
	理由：町名ではなく居住する福祉エリアで回答するよう3課で統一。⇒資料1-3・2ページ				
B 住まい	F 4	家族構成			
	問1	住まい（一戸建て、集合住宅など）			
	問1-1	住まいや住環境で困ったこと			
	新規1	今後の府中市への居住継続意向		○	新規
理由：各事業と居住継続意向の関係性を確認するため。⇒資料1-3・3ページ					
C 医療	問2	現在治療中の病気の有無			
	問3	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の 有無			
	問4	在宅療養サービスの認知度			
D 介護保険	問5	要介護度			
	問6	要介護認定を受けたきっかけ			
	問7	介護保険サービスの利用の有無			削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-3・5ページ				
	問7-1	介護保険サービスの（1）満足度、（2）満足度の基準			削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-3・6ページ				
	問8	今後どのような生活を希望するか			
	問9	施設入所の検討状況			
	問9-1	申し込み、検討している理由			
	問9-2	入所・入居申し込みをした施設・居住系サービスの種類			
E 利用者本位 のサービスの あり方	問10	現在のケアプランの満足度			削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-3・7ページ				
	問10-1	ケアプランの不満の内容			削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-3・7ページ				
	問11	ケアマネジャーの評価			削除
理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-3・8ページ					
F 福祉サービ ス	問12	利用している民間サービス			
G 認知症	問13	認知症について知っていること			
	問14	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要 なこと			
	新規2	認知症になった場合の暮らしへの意向			新規
	理由：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と同様の設問を追加。⇒資料1-3・9ページ				
H 地域生活と 日ごろの活 動	問15	主観的幸福度		○	
	問16	隣近所の人とのつきあいの程度		○	
	問17	日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほし い手助け			
	問18	生きがいの有無			削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-3・10ページ				
	問19	これから参加したい活動			

調査項目	問番号	設問	市	地福・障害 と共通	新規・変更・ 削除等
	問 2 0	新型コロナウイルス感染症の流行を受けての変化			削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料 1－3・1 1 ページ				
I 災害時の対応	問 2 1	災害時に手助けをしてくれる人			
	問 2 2	災害時に備えてしていること			
	問 2 3	災害時に安心できる手助け			削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料 1－3・1 1 ページ				
J 情報	問 2 4	健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動、権利擁護等に関する情報の入手先			
	問 2 5	暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあったときの相談先	○		
	新規 3	どこに相談したらよいか分からない悩みはあるか		○	新規
	理由：3 課共通で各年代の傾向を調査するため。⇒資料 1－3・1 2 ページ				
	新規 3－1	悩みの内容		○	新規
	理由：3 課共通で各年代の悩みを調査するため。				
	問 2 6	地域包括支援センターの役割や機能の認知状況	○		削除
	理由：地域福祉推進課実施の調査に含めるため。⇒資料 1－3・1 3 ページ				
	問 2 7	パソコンやスマートフォン等の媒体の所持状況			削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料 1－3・1 3 ページ				
	問 2 8	問 2 7 の媒体の用途			削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料 1－3・1 3 ページ				
K 在宅療養	問 2 9	自宅で療養を続けたいと思うか			
	問 2 9－1	療養は可能だと思うか			
	問 2 9－2	そう思わない、難しいと思う理由は			
	問 3 0	人生の最後をどうすごしたいか、家族等や医療介護関係者と話し合ったことがあるか			
	問 3 0－2	話し合ったことがない理由は			新規
	理由：話し合ったことがない背景要因を知るため⇒資料 1－3・1 4 ページ				
	問 3 1	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望			
L 主な介護者の状況や意向	問 3 2	主な介護者			
	問 3 3	主な介護者の年齢			
	問 3 4	主な介護者の居住地			
	問 3 5	介護している期間			
	問 3 6	1 日に介護している平均時間			
	問 3 7	被介護者が生活するのによいところ			
	問 3 8	介護をしていくうえでの問題点			
	問 3 9	介護をしていて良かったと思うこと			
	問 4 0	介護者支援として必要と思うもの			
	問 4 1	コロナ禍におけるサービスの利用状況の変化 (1) サービス利用状況、(2) 身体の状態			削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料 1－3・1 7 ページ				
	問 4 2	コロナ禍における介護者の就労状況や働き方の変化			削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料 1－3・1 7 ページ				
	問 4 3	コロナ禍の中で利用したいサービス			削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料 1－3・1 7 ページ				
	■	介護者が感じている介護の問題、経済的負担、遠距離介護や呼び寄せ介護の問題、市への意見・要望（自由記述）			

調査③ 在宅介護実態調査【全19問 ※前回調査比 0問（0%）減】 R7.6から実施

調査項目	問番号	設問	新規・変更・削除等
A票 調査対象者 （本人）の 状況	問1	世帯類型	
	問2	家族等の介護の頻度	
	問3	主な介護者の本人との関係	
	問4	主な介護者の性別	
	問5	主な介護者の年齢	
	問6	主な介護者が行っている介護	
	問7	介護のための離職の有無	
	問8	介護保険外の支援・サービスの利用状況	
	問9	在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	
	問10	施設等の検討状況	
	問11	本人が抱えている傷病	
	問12	訪問診療の利用の有無	
	問13	介護保険サービスの利用の有無	
	問14	介護保険サービスを未利用の理由	
B票 主な介護者 の状況	問1	主な介護者の勤務形態	
	問2	主な介護者の方の働き方の調整の状況	
	問3	就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	
	問4	主な介護者の就労継続の可否に係る意識	
	問5	今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	

調査④ 介護サービス提供事業者調査

【全40問 ※前回調査比 6問（13.0%）減】※他調査から統合した設問を除く

調査項目	問番号	設問	市	新規・変更・削除等
A 基本属性	問1(1)	提供しているサービス（宛名記載）		
	問1(2)	他に提供しているサービス		
	問1(3)	介護保険以外のサービスの提供の有無		
B 事業運営	問2	昨年度の事業採算		
	問3(1)	職員の総数⇒資料1-4・2ページ		介護人材実態調査の設問を統合 ※1 設問数の増減から除外
	問3(2)	過去1年間の介護職員の採用者数・離職者数 ⇒資料1-4・2ページ		
	問3(3)	採用者・離職者の正規・非正規の別・職種別⇒資料1-4・2ページ		
	問3(4)	離職理由		
	問3(5)	離職防止策	○	
	問4	職員の処遇改善について		
C サービス提供における課題	問*	所属している介護職員の情報⇒資料1-4・4ページ		介護人材実態調査の設問を統合 ※1
	問5	サービス提供の困難ケースの有無		
	問5-1	困難ケースの内容		修正
	理由：別の介護労働実態調査と比較するため、選択肢の追加⇒資料1-4・5ページ			
	問5-2	困難ケース対応にあたり必要な行政支援（自由記述）		
	問6(1)	量的に不足しているサービス		
	問6(2)	ケアプランに組み入れにくいサービス		
	問6(3)	必要性が高まるとされるサービス		
	問7	介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの提供の有無		
	問7-1	（提供している場合）総合事業を進めていくうえでの課題		
	新規1	今後のサービス提供の見通し		新規
D サービスの質の向上と人材確保に向けた取組	理由：事業所の意向を確認するため。⇒資料1-4・7ページ			
	問7-2	（提供していない場合）総合事業を提供しない理由は何ですか		
	問8	サービスの質の向上に対する取組		
	問9	現在の職員の過不足状況		
	問10	確保の困難な職種		
	問11	人材を確保するための取組		修正
	理由：別の介護労働実態調査と比較するため、選択肢の追加⇒資料1-4・9ページ			
	問12	人材の確保・育成、定着促進、環境改善のために有効と考える支援策		
	問13	職員の研修・教育等に関して困っていること		
	問14	事業所内での研修の実施状況		修正
	理由：別の介護労働実態調査と比較するため、選択肢の追加⇒資料1-4・10ページ			
	問15	外部の研修等への参加支援の状況		
	問16	職員に必要だと考えられる研修		修正
	理由：別の介護労働実態調査と比較するため、選択肢の追加⇒資料1-4・10ページ			
	問17	福祉サービス第三者評価の受審の有無		
E	問17-1	受審していない理由		削除
	理由：調査結果の活用がないため⇒資料1-4・11ページ			
	問18	認知症の利用者の状況で実際にあること		

調査項目	問番号	設問	市	新規・変更・削除等
認知症患者のサービスの利用	問 1 9	認知症患者の支援にあたってのかかりつけ医との連携		
	問 2 0	認知症患者の支援に必要なこと		
F 医療と介護の連携状況	問 2 1	市内の在宅療養者への医療と介護の連携の状況	○	
	問 2 1 - 1	医療と介護が“連携していないと思う”理由		
	問 2 2	医療機関やかかりつけ医との情報交換方法		
	問 2 3	MCS（メディカル ケア ステーション）の活用状況		削除
	理由：計画反映のための活用予定がなく、他で実施するアンケート等での情報収集が可能なため。⇒資料 1 - 4・1 3 ページ			
	問 2 3 - 1	活用していない理由		削除
	理由：計画反映のための活用予定がなく、他で実施するアンケート等での情報収集が可能なため。⇒資料 1 - 4・1 3 ページ			
	問 2 4	関係機関、職種との連携		
	問 2 5	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職		削除
	理由：計画反映のための活用予定がなく、他で実施するアンケート等での情報収集が可能なため。⇒資料 1 - 4・1 3 ページ			
	問 2 6	医療と介護の連携を図るために必要なこと		
	問 2 7	医療と介護の連携で苦労していること（自由回答）		
	問 2 8	医療関係機関に期待すること（自由回答）		
G 共生型サービス	問 2 9	共生型サービスへの参入以降		
	問 2 9 - 1	準備又は検討している共生型のサービスの種類		
	問 2 9 - 2	サービスを実施していく上での課題（自由回答）		
H 災害時の体制	問 3 0	災害時のマニュアルの作成の有無		
	問 3 0 - 1	マニュアルの内容		
	問 3 1	BCP の策定の有無		
	問 3 2	避難訓練や安否確認の訓練の有無		
	問 3 3	災害時に備えた地域との連携の程度		
	問 3 4	災害発生時における課題（自由回答）		
I 感染症対策	問 3 5	感染防止のため取り組んでいること		
J 地域との関わり	問 3 6	地域団体や組織との関わり		
	問 3 6 - 1	関わりの内容		
	問 3 7	地域ケア会議への出席		
	問 3 7 - 1	地域ケア会議を活発にするために必要なこと		
新型コロナウィルス	問 3 8	新型コロナウイルス感染拡大防止に対応して、休業を行ったか		削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料 1 - 4・1 8 ページ			
	問 3 9	自主的に利用を控えた利用者はいたか		削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料 1 - 4・1 8 ページ			
	問 4 0	利用者宅への訪問サービスを控えたか		削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料 1 - 4・1 8 ページ			
	問 4 0 - 1	（控えた場合）代替措置を講じたか		削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料 1 - 4・1 8 ページ			
	問 4 1	経営への影響対応として苦慮したこと		削除
	理由：時限的な実施のため削除。⇒資料 1 - 4・1 8 ページ			
K 事故やトラブルの対応策	問 4 2	ヒヤリハット報告書の様式の有無		
	問 4 3	ヒヤリハットの報告基準や報告手順のマニュアルの有無		
	問 4 4	ヒヤリハット報告書が提出される頻度		削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料 1 - 4・1 9 ページ			

調査項目	問番号	設問	市	新規・変更・削除等
	問45	ヒヤリハット報告書の活用		
	問46	事故に関する情報共有や再発防止への期待		
L 利用者の居変更の状況	問○	サービス種別⇒資料1-4・20ページ		居所変更実態調査の設問を統合 ※1
	問○	施設概要⇒資料1-4・20ページ		
	問○	入所・入居者の要支援・要介護度⇒資料1-4・20ページ		
	問○	過去1年間の新規入所・入居者数⇒資料1-4・21ページ		
	問○	過去1年間の新規入所・入居者の、入所・入居する前の居場所別人数⇒資料1-4・21ページ		
	問○	過去1年間の退去した人の人数⇒資料1-4・22ページ		
	問○	過去1年間の退去者の要介護度別人数⇒資料1-4・22ページ		
	問○	過去1年間の退去者の退居先別人数⇒資料1-4・20ページ		
M 自由意見 (市への意向)	問47	事業者として市に望むこと		修正
		理由：別の介護労働実態調査と比較するため、選択肢の追加⇒資料1-4・23ページ		
	問48	介護保険制度、医療と介護の連携に対する意見・要望 (自由回答)		

調査⑤ 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査

【全34問 ※前回調査比 7問（17.1%）減】※他調査から統合した設問を除く

調査項目	問番号	設問	市	新規・変更・削除等
A 基本属性	問1	性別		
	問2	年齢		
	問3	ケアマネジャー以外の所有資格		
	問4	ケアマネジャー業務の経験年数		
	問5	主任ケアマネジャー資格の有無		修正
	理由：過去も含めた取得状況を把握するため。⇒資料1-5・1ページ			
	問6	現在の居宅介護支援事業所での在職期間		
B ケアマネジャー業務の担当状況	問7	勤務形態		
	問7-1	兼務している業務		
C ケアプランの作成状況	問8	担当している利用者数		
	問8-1	介護予防プランの作成を受託していない理由（自由回答）		修正
	理由：介護予防プランの作成が少ない理由を詳細に把握するため選択肢式に変更⇒資料1-5・2ページ			
	問8-2	介護予防プランの受託件数を増やすうえでの課題（自由回答）		
	問9	ケアプランを作成する際、困っていること		修正
理由：別の介護労働実態調査と比較するため、選択肢の追加⇒資料1-5・3ページ				
D 担当地域におけるサービスの状況	問10(1)	量的に不足しているサービス		
	問10(2)	ケアプランに組み入れにくいサービス		削除
	理由：問10(3)と内容が類似しているため。⇒資料1-5・3ページ			
	問10(3)	必要性が高まるとされるサービス		
	問11	介護保険以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことがあるか		
	問11-1	ケアプランに加えた高齢者保健福祉サービス		
	問11-2	今後一層の充実が必要と思う高齢者保健福祉サービス		
	問11-3	その理由（自由回答）		
	問11-4	ケアプランに加えたインフォーマルサポート		
	問11-5	今後一層の充実が必要と感じるインフォーマルサポート		
	問11-6	その理由（自由回答）		
E サービス提供事業所等との関わり	問12	サービス提供事業所に関する情報収集や連絡、調整の方法		
	問12-1	特に行っていない理由（自由回答）		
	問13	ケアプラン作成時の医療機関等からの情報収集の状況		削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・7ページ			
	問13-1	特に行っていない理由（自由回答）		削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・7ページ			
F サービス担当者会議	問14	情報収集する上での課題（自由回答）		
	問15	サービス担当者会議への参加状況		削除
	理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・7ページ			
	問16	サービス担当者会議の開催にあたって困難と感ずること		修正
理由：感染症類型の変更のため、選択肢の修正⇒資料1-5・8ページ				
G 地域包括支援センターの役割	問17	地域包括支援センターの役割に対する評価	○	

調査項目	問番号	設問	市	新規・変更・削除等
H サービス利用者の在宅医療の状況	問18	訪問看護、訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる利用者の有無		
	問19	在宅療養高齢者の急変時の医療機関への移行について		削除
		理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・9ページ		
	問20	高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能		
	問21	医療的ケアが必要な人のショートステイの利用状況		
	問22	在宅医療をささえるうえで必要と思われる支援・サービス（自由回答）		
	問23	バックベッド確保事業の利用状況		削除
		理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・10ページ		
	問23-1	利用したことがない理由（自由回答）		削除
		理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・10ページ		
I 認知症患者のサービス利用	問24	認知症の利用者の状況で実際にあること		
	問25	認知症患者の支援にあたってのかかりつけ医との連携		
	問26	認知症患者の支援に必要なこと		
J 医療と介護の連携状況	問27	医療機関やかかりつけ医との情報交換の方法		
	問28	入院時の情報提供書の提出状況		
	問29	退院前(時)カンファレンスへの出席状況		削除
		理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・11ページ		
	問30	医療関係機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーションへの期待（自由回答）		
	問31	医療と介護の連携で苦労していること（自由回答）		
	問32	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職		
	新規1	医療と介護の連携を図るために必要なこと		新規
		理由：介護サービス事業者、医療機関調査と同様にケアマネジャーにも聞くため。⇒資料1-5・12ページ		
K ケアマネジャー業務全般	問33	自立支援に向けたケアプランの作成状況		
	問33-1	自立支援に向けたケアプランとして意識・工夫していること（自由回答）		
	問33-2	不十分だと思う理由（自由回答）		
	問34	ケアマネジャー業務を行ううえでの課題		
	問35	ケアマネジャー業務の中で負担と感ずること		
	問36	ケアプランを作成するうえで困ったときの相談先		削除
		理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・14ページ		
	問37	相談内容		削除
		理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・14ページ		
	問38	ケアマネジャー業務のレベルアップのために行っている取り組み、今後行いたい取り組み		
	問39	利用者への情報提供の際の課題		削除
		理由：調査結果の活用がないため。⇒資料1-5・15ページ		
L 自由意見（市への意向）	問40	ケアマネジャーして市に望むこと		
	問41	介護保険制度、医療介護の連携に対する意見・要望（自由回答）		
	問〇	在宅生活維持困難な利用者について		在宅生活改善調査の設問を統合 ※1 設問数の増減から除外

調査⑥ 医療機関調査【全33問 ※前回調査比 増減なし】

調査項目	問番号	設問	市	新規・変更・削除等
A 基本属性	問1	所属している医療関係機関		
	問2	職種		
B 医療と介護 の連携状況	問3	在宅療養者への医療と介護の連携の状況	○	
	問3-1	連携していないと思う理由		
	問4	退院前(時)カンファレンスやサービス担当者会議への出席の有無		
	問5	関係機関、職種との連携状況		
	問6	MCS（メディカル ケア ステーション）の活用状況		削除
	理由：計画反映のための活用予定がなく、他で実施するアンケート等での情報収集が可能なため。⇒資料1-6・2ページ			
	問6-1	活用していない理由		削除
	理由：計画反映のための活用予定がなく、他で実施するアンケート等での情報収集が可能なため。⇒資料1-6・2ページ			
	問7	介護保険制度、介護保険サービスの理解		
	問8	医療職と介護職が連携するために充実するとよいこと		修正
	理由：介護サービス提供事業者調査と設問の表記を統一するため。⇒資料1-6・3ページ			
	問9	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える介護職		
	問10	認知症や認知症の介護に関する研修受講の意向		
C 診療所（医師）の取組 状況	問11	行っている在宅医療		
	問11-1	訪問診療や居宅療養管理指導の依頼元		
	問12	他の医療機関との連携		
	問13	介護関係者との情報交換の機会		
	問14	認知症の症状がある人を治療するときに困ること		
	問15	認知症サポート医への相談の有無		
	問16	認知症専門医への紹介の有無		
	問16-1	認知症専門医への紹介の目的		
	問16-2	認知症専門医の種類		
	問16-3	認知症専門医に紹介するときに問題になること		
D 歯科診療所（歯科医師）の取組 状況	問17	訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施		
	問17-1	訪問時の口腔衛生指導の実施		
	問17-2	歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導の実施		
	問17-3	訪問歯科診療や居宅療養管理指導で対応可能な治療		
	問17-4	訪問歯科診療や居宅療養管理指導の依頼元		
	問18	今後の訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施の可能性		
	問19	在宅療養者のかかりつけ医との連携		
	問19-1	在宅療養者のかかりつけ医と連携していない理由		
E 薬局（薬剤師）の取組 状況	問20	在宅患者訪問薬剤管理指導の利用者の有無		
	問20-1	居宅療養管理指導の依頼元		
	問20-2	医師との連携状況		
	問20-3	処方箋以外の連携の手段		
	問20-4	在宅患者訪問薬剤管理指導の利用者がいない理由		
F 訪問看護ステーション（訪	問21	在宅療養支援診療所の処方箋の取り扱い状況の有無		
	問22	在宅医療の活動状況		
	問23	在宅医療を実施している医療機関との連携		
	問23-1	連携が取れていない理由（自由回答）		

調査項目	問番号	設問	市	新規・変更・ 削除等
問看護師)の 取組状況	問24	医師との連携の方法		
	問24-1	医師との連絡の手段		
G 病院の退院支援 担当者(医療ソ ーシャルワーカー、 看護師)の 取組状況	問25	在宅医療の活動状況		
	問26	地域連携活動の内容		
	問27	介護保険施設との連携		
H 災害時等の 体制	新規1	災害時等における高齢者支援の課題		新規
	理由：医療関係者視点での課題を確認するため。⇒資料1-6・13ページ			
I 在宅医療の 実施状況	問28	在宅医療の苦勞		
	問29	在宅医療・在宅ケアを推進するために重要な取組		
J 地域包括ケ アシステム 推進に向けた医療と介 護の連携	問30	患者本人のケアマネジャー(介護支援専門員)との連携や 情報共有の状況		
	問31	介護従事者等に期待すること(自由回答)		
	問32(1)	医療と介護の連携が進むために必要なこと(連携の仕組み づくり)		
	問32(2)	医療と介護の連携が進むために必要なこと(地域の人材育 成)		
	問32(3)	医療と介護の連携が進むために必要なこと(サービス・基 盤整備)		
	問32(4)	医療と介護の連携が進むために必要なこと(情報提供・相 談支援の充実)		
	問33	在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、介護保 険制度、医療保険制度等を含め、医療と介護の連携につい ての意見・要望(自由回答)		